



一般質問

# 保育園は民間委託でよいのか

祝 優雄 議員



**〔質問〕** 小学校就学前の子育て施設、公立保育の民間化説明会がそれぞれの地域ではじまっている。施設ごとの理解度と問題点を聞かせてほしい。

**市長** 6つの保育に、これまで3回説明した。

**①新穂トキッ子保育**は合併前に4つの公立と私立の統合を行っており、またここで民間化なのか。また、民間化した場合、入居者が多く、地元子どもたちが入れなくなるのではないのか。  
**②真野の第一保育**では、民間化によって市の財政がどれほど削減されるのか。障がい児の対応ができるのか。  
**③双葉保育**では、舎の建てかえはどのようなものか。

**④沢根保育**では、公募し

たとき応募する事業者がなかった場合どうなるのか。

**⑤中興保育**では、民間化後、佐渡市の係わりはどうか、公募の条件などはどんなふうになるのか。

**⑥羽茂保育**では、南部地区の統合計画と民間化の関係、整合性はどうか。借地のままの民間化をどう考えているのか。などの意見があった。

**〔質問〕** ■も、幼保一元化は13年をめどにしている。関係する保護者も混乱しており、■の方



新穂トキッ子保育園

向が確定するまで様子を見るのがよいのではないのか。  
**市長** 最終的には市民のために、見直しは必要であるが、理想の目標を掲げたわけで、理解を求める努力を引き続き進めていきたいと考えている。



一般質問

# 地方主権時代の県の圧力と佐渡市の関係について

猪股 文彦 議員



**〔質問〕** 地方主権はひとつの流れである。しかし、県の力が圧倒的に強くなり、県の機嫌を伺いながらの市政運営になると心配するが、市長はどのように渡りあえるのか。

**市長** 一括交付金について24年度は市町村へと変わる。実は県によって離島に対する対応が極めて違う。その差別をなくすため、■の関与を求める声も非常に強い。当面、県営事業については、陳情や要望をするわけだが、非常に大きく後へ残ってくる問題だと思ふ。

**〔質問〕** 佐渡市のような弱小自治体は■の一定の関与が必要と思うが、どうか。  
**市長** この問題については、全離島でも■の一定のかかわり合いを入れてほしいと主張している。県の執行部によっては、離島の弱者の地位が変わってくるというところもあるので、十分注意をしたい。

**〔質問〕** 佐渡市の将来ビジョンについて、■の減少と市税の減少が加速していくと思うが、将来にビジョンの見直しが必要ではないか。

**〔総合政策部〕** 今年464億円の予算が、31年には150億円以上減る。そうすると民間経済への影響は大きいので、経済構造を変える必要がある。人・物・金の流れを佐渡に呼び込み税収アップをしなければならぬ。そのために、大型空港や安くて便利な船便の交通インフラの整備が急がれる。これには、■がしっかりと反省し、その責任を果たすことが大事だ。

**〔質問〕** 第一次産業では、税収は上がらないと思ふ。し

かし、後継者のいる農業、水産業に大幅な支援、そして産業者には少なくとも、もうかる農業、漁業にすべきと考えるが、どうか。  
**市長** そのとおりで、成長戦略でも担い手の育成で若い人が入ってくる農林水産業が一つの柱になっている。





一般質問

小山 純一 議員

# 公的サービスと

## 福祉の原点を大切に



**【質問】** 養護老人ホーム「待鶴荘」、軽費老人ホーム「とさわ荘」は、老人福祉法に基づき福祉の視点から、高齢者の生活を行政の責任で保護し支える施設。設立の主旨や入居者の状況からも指定管理や民営化になじまない。利益優先の企業や実績のない福祉法人の参入による、サービスの切り下げや安全性の低下による死亡事故等が全体的に起きています。総務大臣も、行政サービスの質の向上のねらいが、コストカットに力点が置かれてきたことに自治体の自覚と反省が必要との認識を示している。見直しの考えはないか。

**【市長】** 全レベルでは、養護老人ホームの民間移譲も進んでいる。民間事業者の十分な資格検査や経験への判断を行っていききたい。

**【質問】** 民営化対象の複数の保育で不安や疑問の声が上がっている。検討されている子育て新システムでは、保育料や保育時間等根幹に関わる部分で大きな変更が予測される。の方針確定まで民営化の動きを休止する考えはないか。

**【市長】** 一定の不安を与えたことは事実。最終的には次の世代を作るための一つの仕組みである。市の財政破綻を避けるためにも、理解いただくよう努力する。

**【社会福祉課長】** 3の説明会での意見もあり、進め方等について見直しも必要。

**【質問】** 離島特認の平場への直払い制度は、戸別補償の定部分への上乗せと共同活動としての農地・水保全管理の三点セット。離島を大切にすることを生かすよう運用を。

**【市長】** 農家所得の増加をみることが出来る離島に対する画期的な施策。県に感謝している。

**【市長】** 農家所得の増加をみることが出来る離島に対する画期的な施策。県に感謝している。

**【農林水産課長】** 戸別補償を補完する位置づけ。2分の1以上を個人に配分することを原則に、集落の意向を最大限尊重して取り組むたい。

**【市長】** 農家所得の増加をみることが出来る離島に対する画期的な施策。県に感謝している。



一般質問

本間 千佳子 議員

# 小さな課題が

## 大きな地域振興に



**【質問】** 島外の方から佐渡の人は山菜をあまり採らないし食材を無駄にしているという指摘がある。施政方針にある、消費されない山の幸、海の幸を原料にした高付加価値商品の開発に取組む具体例は何か。

**【島づくり推進課長】** 事業開発係で地産地消、地産地消の促進によって島を元気にしよう、消費されていない山菜等を扱ってくれる企業を探したところ、加工しない現物が非常に好評で、海の幸も求めてくれる企業があった。23年度からは年間をとおして現物直送を始めてみたい。

**【質問】** 佐渡でとれる山海の幸の調理方法を島民に知ってもらおう運動を起こしてみよう。

**【農林水産課長】** 佐渡の方々には本当においしい物しか食べないし、売る発想もない。地産地消推進の中で、生活改良員が頑張った地場産物の料理本等があるので収集してみる。グループづくりも仕かけてみたい。

**【質問】** 多様化する顧客ニーズの対応に、レンタル電動アシスト自転車の促進とあるが、利用者に対して交通安全性を確保し、道路整備や保険制度は整っているか。

**【市長】** 佐渡は船が着いてから不便なので、2次交通整備の一貫として、昨年100台全島に配置した。狭い観光地やアップダウンのあるエリアには極めて有効の結果が出ている。佐渡一周線・道350号線は、早期改良事業を佐渡地域振興局地域整備部に要望する。レンタル料に保険は含めてある。

**【観光商工課長】** すでに民間所有があり、合わせて123台が島内でレンタル利用されている。一台15万円相当のものを昨年の事業で観光協会に所有し、1日24時間使っても2000円までナビ付きは更に500円としている。

**【質問】** 安心安全な地域づくりは、地域住民が何を望んでいるかを知るために地域と行政との接点が必要で、全島に地元議員や職員を混じえた陳情制度を設ける考えは。

**【総務課長】** 市内10地区の内6地区が時期を決めて陳情している。どの地区も同じ方式で同等のサービスが受けられる制度を新年度に協議検討することになっている。





一般質問

廣瀬 擁 議員

# 佐渡市に情報発信宣伝課を



**【質問】** 行政、観光協会、旅館組合（両津、相川、佐和田）、小木）はいつ頃からどのような方面に、どのような手段で観光宣伝をしているのか。

**市長** 各イベントの観光宣伝は、個々に情報発信を行うため、関係者が一体感を持つて効果を生み出す仕組みの構築が重要だ。

**【質問】** 女子大生提案のツアープランの実施はどのような作業手順で実施するのか。

**市長** 女性、若者という2つの視点から魅力ある旅の提案をもちいたので、若者をターゲットに新しい客層の誘客を指して取り組む。

**観光商工課長** 宣伝は観光協会の各支部ごとにやっている。観光協会本部で瞬時にホームページに載せて宣

伝。行政においても県発行の佐渡ナビという雑誌で紹介をしている。

**【質問】** 行政のインターネットの更新担当はどこか。また発信は専門の課を設けるべきと考えるが。

**観光商工課長** 女子大生のプランからも情報が古いと指摘を受けた。旬の観光情報は観光協会のホームページからが適切と考える。

**総務課長** 市のインターネット関係の発信は総務課で取りまとめ業者に発注、そして更新をかけている。

**【質問】** 民間であれば観光宣伝、外部に発信するインターネット情報などは高額を払い専門の広告宣伝業者に発注している。佐渡らしい情報は広告の勉強をした人をキーマンに情報発信するシステムをつくるべきだか。

うのは一定のセンスが必要だ。担当課長なりが常時自分の仕事を見てもらい、発信するという意欲を持たないといけない。今の意見をに入れて改革を促していきたい。

**【質問】** 相川で始まったひなまつりが両津、佐和田、小木等各商店街にも飾られているので、競うような仕組みで取り組んではどうか。

**観光商工課長** 当初土交通省からの事業予算の中から始めたものである。はっぴ、のぼり等を揃えたので、ガイドに対する循環タクシーの設定、パンフレット等協力していく。



一般質問

近藤 和義 議員

# 民主党政権は 離島を大事にする政権



**【質問】** 民主党政権に対する市長見解を問う。

**市長** 民主党への政権交代後の平成22年度予算から実質的な地方交付税総額は、離島や過疎地域に手厚い財源配分がされ、佐渡市には平成21年度対比、約20億円増額されており、本市など財政力の弱い地方の市町村に配慮されている。特に離島に対しては非常に手厚い支援をしてもらっている。

**【質問】** 離島ガソリン流通コスト支援事業内容を問う。

**市長** 離島の振興を促すために、本土に比べて割高なガソリン価格を引き下げるための支援制度として平成23年度に予定されており、佐渡市には1ℓあたり7円が補助される。今この件は、12月になって最後、鷺尾代議士から枝野官房長官に直談判してもらい、物凄く努力をしていただいた結果、この仕組ができた。本土に比べて約20円高い現状だが、離島としてのコストの6.9円がオーソライズした（正当と認めた）金額であり、スタンドのマージンは13円ということである。

**【質問】** 離島ガソリン流通コストの支援措置、離島特認の農業政策、離島航路に対しての補助など、離島の隘路や僻地としての体質、海があることに対する問題については、かなりやってもらっている認識している。前原大臣の頃から、組立体が離島に対する手厚い配慮が根底にあるので、この体系はぜひ継続

してほしい。

**【質問】** 離島ガソリン流通コスト支援事業内容を問う。

**市長** 離島の振興を促すために、本土に比べて割高なガソリン価格を引き下げるための支援制度として平成23年度に予定されており、佐渡市には1ℓあたり7円が補助される。今この件は、12月になって最後、鷺尾代議士から枝野官房長官に直談判してもらい、物凄く努力をしていただいた結果、この仕組ができた。本土に比べて約20円高い現状だが、離島としてのコストの6.9円がオーソライズした（正当と認めた）金額であり、スタンドのマージンは13円ということである。

**【質問】** 離島特認の農業政策実施には鷺尾代議士も汗をかいたがその内容を問う。

**農林水産課長** 中山間地域等直接支払制度だが、佐渡市においては市内全域の平地についても従前の傾斜地と同条件で、10a当り8000円、畑35000円が交付される。これは本市が離島であるために農業資材等が割高になるなどの条件不利性が認められたものである。

マルな値段まで下げて本土価格に近づけられるか、業者の方々に運営努力をお願いすることになる。

この制度では行政が価格についてモニターを義務付けられているので、どこまでスタンドのマージンをノ

## 佐渡のガソリン価格

本土との価格差	約20円/ℓ
本土との流通コスト差	7円/ℓ = 国の支援実施
スタンドのマージン	約13円/ℓ

市長答弁より

# 代表質問

## 会派

新生クラブ

若林 直樹 議員

### 経済対策を進め 福祉と子育て支援を強化せよ



**質問** 農業の崩壊と地方経済が壊滅的な打撃を受けるＴＰＰの参加には反対をすべきだ。

**市長** 反対の立場をとっている。一次産業については入ってくる量が圧倒的に多い。それに対する財政措置も■難と考えられる。

**質問** 市民に行政改革の痛みを強いる前に、市長・議員・職員の給与を削減すべきだ。■の財政は危機的状況である佐渡市の財政計画にも影響があると思うが。

**市長** 佐渡市将来ビジョンに合わせて削減を行う。合併は大きな改革であり負の部分ができるだけ少なく持つていきたい。予算の半分を占める交付税の行方は将来を左右する。危機的状態にならないよう注視する。

**質問** 雇用対策や産業の振興に全力を上げるべきだ。

**市長** 6■にわたる経済対策を踏まえて次へ橋渡しができる施策を考えていく。企業の進出、島内企業についても雇用確保のための各種補助を続けていく。

**質問** 集落の維持や地域づくりの人材育成に努めるべきだ。

**市長** 集落支援モデル事業等の施策の中でリーダーの発掘と、人材の育成を■っていく。

**質問** 今後の介護施設の設置計画を問う。緊急情報伝達システムを確立すべきだ。

**市長** 特養及び小規模特養4か所増設、短期入所者生活介護2か所、小規模老健の増設1か所を予定している。有線放送、オフトークの代替として全島に緊急や地域の情報を伝達する。安心して生活ができるよう努める。

**質問** 育児休暇や子供の一時預り等支援を強化すべきだ。保育■の民営化は地域の声を十分に把握して進めるべきだ。

**市長** ファミリーサポートセンター事業を利用してもらいながら前向きに進める。民営化については実績があったり、基盤がしっかりしている組織であれば問題ないと考える。今後も説明を深めていく。

清明志政会

大桃 一浩 議員

### 佐渡空港（県営空港）問題について



**質問** 昨年の佐渡空港関連の債務負担行為県議会否決の際の■民党県議団との約束は何か。また、急を要する展開でその後、地元県議の行動は。

**市長** 昨年3月、■民党県議団は佐渡空港関連議案に反対した。2000m化は進めると約束をした。もう少し時間がたつてから行動するとの地元県議からの説明だ。

**質問** P1は、2000m化の次の段階と考えるが事実か。また、請願から陳情に変更となった経緯は。

**市長** P1が実現できれば本当に我々にとつては、第一歩がここで記されることになるので極めてうれしいことである。P1請願については、我々も議会と一緒に願ってお願いしてきた。当初、請願を提出しようとしたが県議団の反対で提出できず陳情という行動をとった。

**質問** 佐渡市は今までに請願や陳情内容の指示、書きかえを強要したことはあるか。市民の権利、陳情、要望に対し、県議からの撤■を強要され撤■した団体はあるのか。

**市長** 佐渡市が今まで市民の権利である請願・陳情・要望の内容の指示、法律違反ともとれる書きかえを強要したことはない。県議からの強要があったかはわからないが、陳情を撤■した団体は、建設業協会と佐渡市整備振興会である。

**質問** 佐渡空港拡張に関する、平成23年度新潟県予算での措置はあるのか。

**市長** 県の空港に関しての予算は昨年とほぼ同額の管理費のみの103万円。

**質問** 佐渡汽船問題について社会资本整備総合交付金を利用してカーフェリーを建造するとき県の負担はあるのか。運賃低廉化を訴えているのは佐渡市と思うが事実か。

**市長** 60億円中、■39億円、佐渡市21億円で県の負担はない。

**質問** 昨年8月のおおさど丸が故障した際、地元県議は、佐渡島民のためにどのような行動をとったかを問う。

**市長** 行動について承知していない。